

公共事業等施行状況調（令和6年2月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		(2 月 末)				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	35,902	31,974	21,931	22,729	13,471	61.4	15,528	68.3	
2	農林・水産	38,294	39,201	30,243	31,935	22,103	73.1	22,916	71.8	
3	道 路	69,333	70,899	39,235	48,586	28,540	72.7	31,972	65.8	
4	港湾・空港	10,293	9,155	5,418	4,748	3,287	60.7	2,756	58.0	
5	下水道・公園	10,795	9,400	2,520	2,329	1,956	77.6	1,652	70.9	
6	住 宅	1,871	1,489	1,404	1,051	1,184	84.3	922	87.7	
7	庁 舎	3,088	2,467	2,788	2,315	2,088	74.9	1,950	84.2	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,586	4,047	3,957	2,780	2,771	70.0	2,301	82.8	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	83	267	77.6	80	96.4	
12	災害復旧	8,619	954	4,849	809	4,849	100.0	809	100.0	
13	その他	6,508	7,584	4,299	4,274	3,590	83.5	3,464	81.0	
	計	192,541	178,121	116,988	121,639	84,105	71.9	84,351	69.3	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和6年2月末）

（単位：社、件、百万円、％）

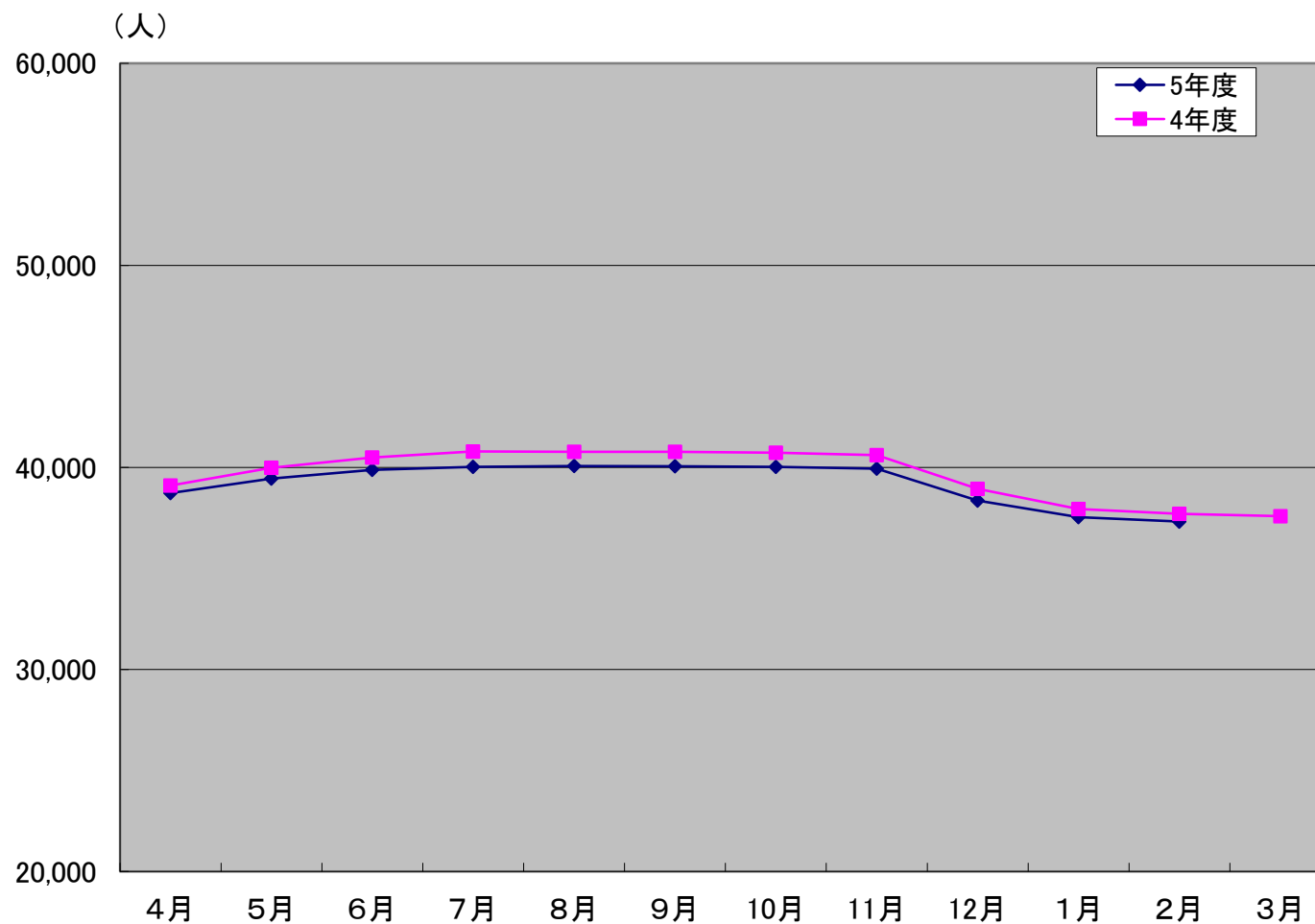
事項	予算措置額		発注実績											
	(A)		合計 (B)			県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)		
区分	事業費	本工事費	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額
5年度	192,541	116,988	24,252	2,429	84,105	23,715	2,312	74,472	463	91	4,083	74	26	5,550
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					71.9	97.8	95.2	88.5	1.9	3.7	4.9	0.3	1.1	6.6
前年度比	108.1	96.2	95.0	93.4	99.7	95.1	92.9	98.6	85.7	97.8	90.1	148.0	136.8	128.9
4年度	178,121	121,639	25,537	2,601	84,351	24,947	2,489	75,514	540	93	4,529	50	19	4,307
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					69.3	97.7	95.7	89.5	2.1	3.6	5.4	0.2	0.7	5.1

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月	40,068	40,778
9月	40,056	40,773
10月	40,031	40,728
11月	39,936	40,608
12月	38,353	38,934
1月	37,539	37,942
2月	37,320	37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	37,539
資格取得者数	361
資格喪失者数	579
転入者数	1
転出者数	2
今月末被保険者数	37,320

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)2月末



建設資材の需給・価格動向調査 (6年3月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。1月の青森県内の販売量は1万1千トン(協会調べ)で前年同月比32.1%減少。前年同月を下回る状況が長期間続き、需要低迷に歯止めがかからない。価格面では、高騰し値上げ要因となった石炭相場が昨年より緩やかに下落しているが、需要家側からの値下げ交渉など具体的な動きには至っていない。メーカー各社は、脱炭素化を見据えた設備投資等を推し進めており、現行価格の維持に注力する構え。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇による値上げの一部が浸透した後も、満額浸透を目指し交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の2月の出荷量は2万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比0.9%の増加となったが、本年度の年間出荷量は前年比やや減少となる見通し。一部メーカーは、輸送コスト増加や原材料価格の上昇による採算悪化回避のため、4月からの値上げを表明している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○		生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は電力料金の値上げや燃料の高止まり、運転手不足が製造・輸送コストを押し上げているとして、値上げを表明し交渉を開始している。多くの需要家は短期間で再度重なる値上げに難色を示しつつも、安定調達を優先し値上げに理解を示す向きも見られはじめた。今後、両者の歩み寄りがさらに進むとみられ、目先、強含みの見通し。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり113,000円と前月比変わらず。メーカー各社は製造コスト増による採算悪化を避けるべく、市況の底上げに向けて売り腰を強めている。一方、商いは盛り上がり欠け展開が続いており、数量を確保したい流通筋の販売競争は変わらず、価格が上昇するまでには至っていない。需要家は製品価格が高騰であるとし、当用買いに徹しながら厳しい姿勢を示している。一部で見受けられた安値は払拭されつつあるが、上値は重く、目先、横ばいの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		2月の県内出荷量は1万2千トン(合材協会調べ)で前年同期比39.4%の増加となったが、本年度の年間出荷量は前年比減少となる見通し。メーカー各社は、足元のスタアス価格の上昇や輸送コストの高止まり分を販売価格に転嫁するため値上げ交渉を継続。一方、需要家は工事量減少による採算悪化を回避すべく値下げ要求を続けている。需要が盛り上がり欠けなか、両者の隔たりは縮まらず、交渉はこう着している。需要回復には時間を要するとの見方が強く、先行き、横ばいの公算が大きい。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。1月の県内新設住宅着工戸数は157戸で前年同月比25.2%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比30.6%の減少、貸家が同19.7%の減少などとなっている。新築住宅向け需要が回復せず、低調な商いが続いている。こうしたなかで、競合する輸入材が現地原木高、輸送コストの増加などを背景に強含みで推移しており、国産材についても現行以下の安値販売には至らない見通し。先行き、横ばいの見込み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡しでリットル当たり126円、重油はローリー渡しでリットル当たり87円とともに前月比横ばい。緊迫化する中東情勢における紅海での海運リスクの高まりや、主要産油国による自主減産の延長合意を受け、原油相場は上昇。一方、国内は燃料油価格激変緩和対策事業の補助金により、流通各社の仕入れ価格は依然として抑制されており、小幅な動きに留まっている。現行制度は4月末まで継続されるため、大幅な価格変動は避けられるとみられ、目先、横ばいの見通し。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。1月の輸入合板入荷量は、20万2千m3で前年同月比11.2%の増加(財務省調べ)。市中の荷動きは精彩を欠いており、ひっ迫感はない。流通業者は、現地価格が高止まりしているため、現行価格の維持に努めている。需要回復の兆しが見えないなかで決算期を迎えており、市場では売り上げ確保を優先する値引きも散見される。目先、弱含みの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり125,000円と前月比変わらず。前月比変わらず。市中の荷動きに直結する中小建築需要の低迷から、盛り上がり欠ける商況が続いている。メーカー各社の値上げによって採算が悪化している流通各社は、メーカー値上げと自社コスト増加分を販売価格に転嫁したい意向にある。しかし、需給にタイト感が乏しい環境下、安値切り上げにとどまっている。需要家は値上げ動向を見極めようと慎重な購入姿勢を維持。先高観はあるが、目先、様子見の展開が続き、横ばいの公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (6年3月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	640	0.0	640	0.0	640	0.0	640	0.0	25,600円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	7,000	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	44,700	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	16,800	0.0	15,600	0.0	18,500	0.0	16,967	0.0	
碎石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
碎石等	コンクリート用碎石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
碎石等	切込碎石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	113,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	113,000	2.7	113,000	2.7	113,000	2.7	113,000	2.7	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	126.0	0.0	126.0	0.0	126.0	0.0	126.0	0.0	126,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	87.0	0.0	87.0	0.0	87.0	0.0	87.0	0.0	87,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	125,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

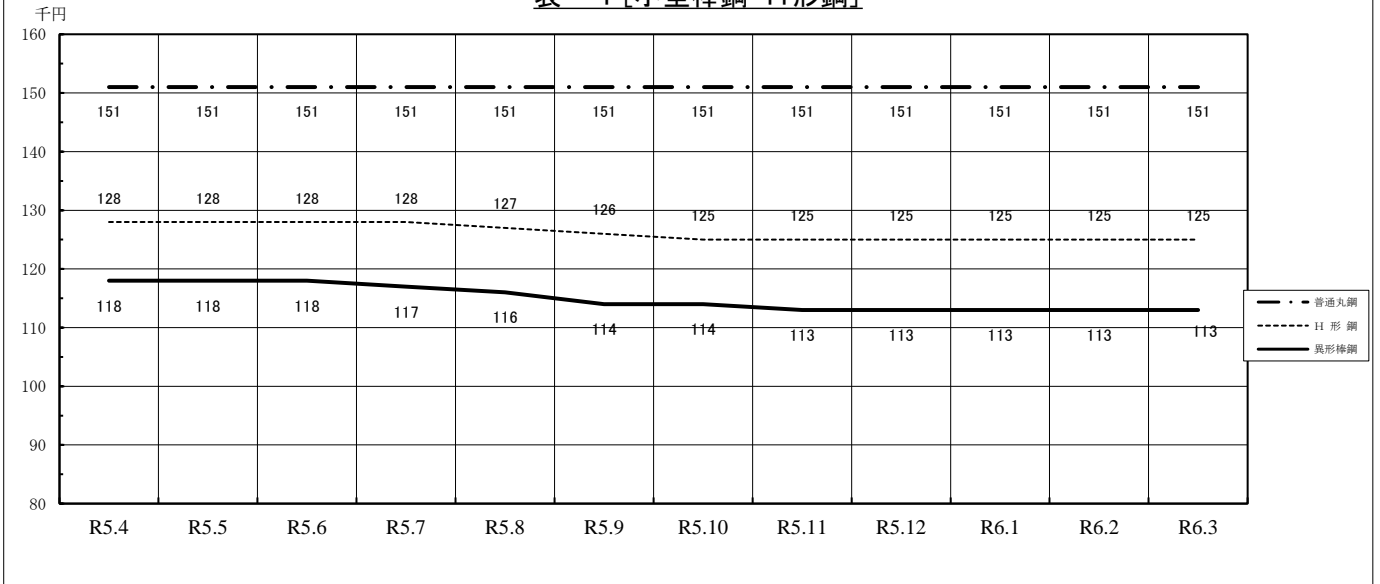


表-2 [セメント・生コン]

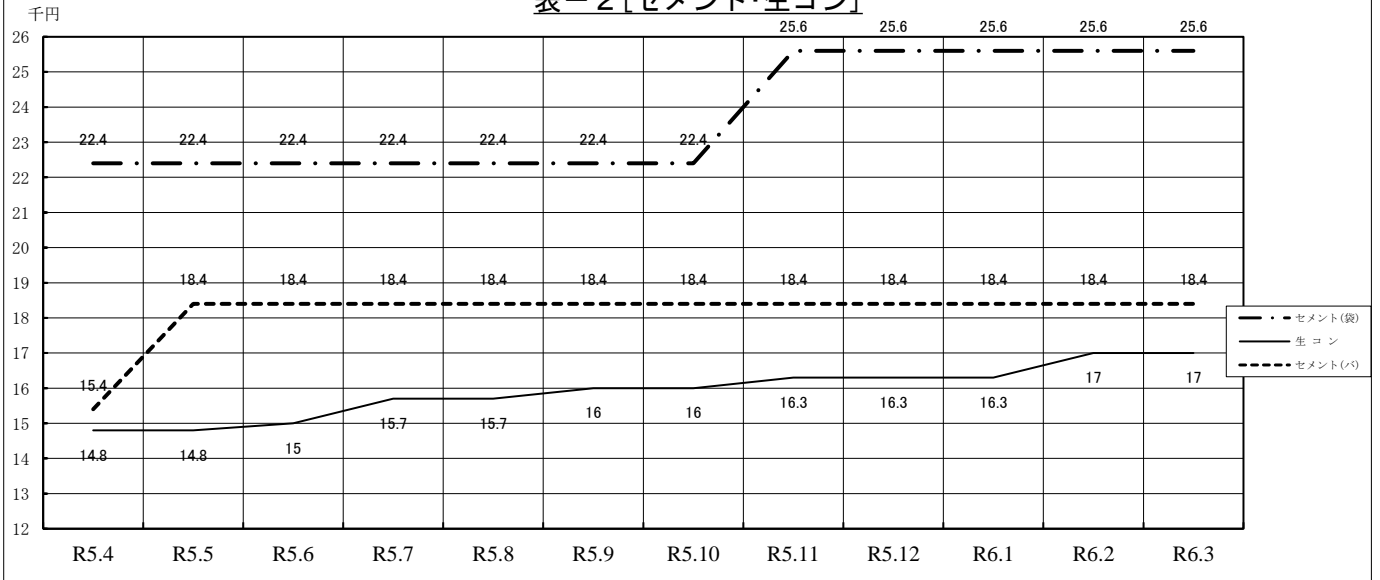
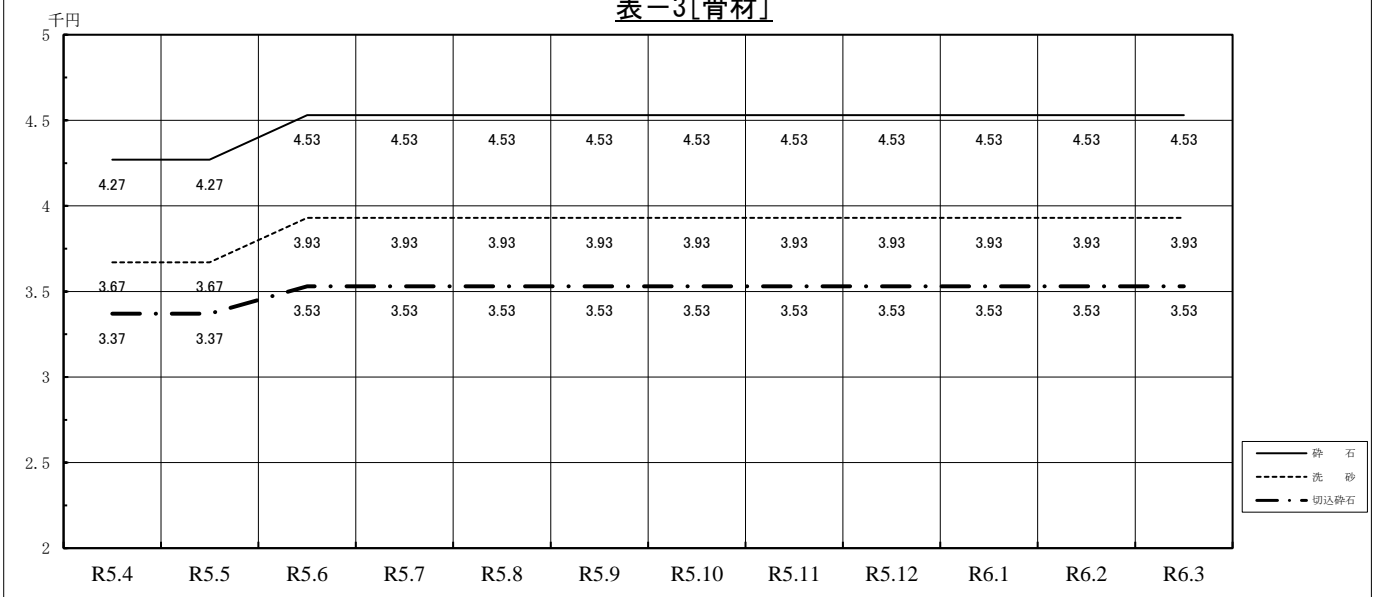


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

